

平成 27 年 11 月 3 日（火） 芦部校区 タウンミーティング 参加者 39 名

【市長との意見交換】

市民： 東阪本町の地番ではないが、隣に浦池というため池があり、地番は阪本町。ため池なので水利が関わっていて、黒鳥町と阪本町の水利が 2 件関わっている。池の周辺に東阪本町の住宅が並び、反対側には阪本、東荘園自治会の住宅も並んでいる。私が 1 年半前に町会長になってすぐ、そこの住人から池のフェンスを破っていいかという電話が入った。なぜかと聞くと、池の蒲（がま）の穂が大変なので、自分たちでやれるところはやりたい。池の向こう側からは入れないので、裏のフェンスを破る許可を得て、自分たちが池に下りて切れる範囲で切っていきたいと。

課題はずいぶん前から聞いており、町会 3 役で光明池の水利にも、市役所の農林課にも相談に行ったが解決策はなかなか見当たらない。市役所の総務課が、9 月に両水利組合、市、東阪本町を呼んで、意見交換する場を設けていただいたが、なかなか結論が出ず、町会自治会に持ち帰って、また再度集まるという状態。

ちょうど今頃の時期から、池のガマが枯れだして、穂が飛散する季節になる。景観上のことは別として、洗濯物も干せない状態が続く。私の家は離れているが、たまには飛んでくる。さらに、穂の飛散問題だけでなく、火災の危険をずいぶん感じる。誰かがくわえ煙草を捨てたら大変な火災が起こる。枯れきっているので周辺の住宅に大被害が出るような危険性がある。

総務課との会議では、管理道路ということで、池の周辺に、幅 5、6m 位の道路を付けたらどうかと提案をいただいた。防火にもなり、ガマの飛散を少しでも和らげるのではないかと提案をいただいて、結論は出ていないが、少し進みながら考えていただいている状況。日々ガマの穂は飛んでくるので、この数年は、役員が年 2 回、3 回は草刈り機を担いで、他所の池でありながら、自衛策で付焼き刃的にやっているという現状がある。

市長： 状況は聞いている。この季節は雪のように飛んできて、洗濯物も干せないと聞いている。写真も見せていただいた。現場もまた見せていただこうと思う。市からは本当に積極的に町会さんが協力して頂き、刈るのは自分たちで刈ると言っているのですが、市の方では道を付けたらどうかと考えている。市単独ではできず、管理する黒鳥町と阪本町との費用負担の問題もあるので、今後相談させていただいて、いい方法を見出していきたい。もう少し時間を欲しい。池もドロ沼のようになっているようだが、その池を使って米を植えているとかはないのか。

市民： ほとんどないと思うが、何か所かはある。昔は本当に水を満々とたたえて魚釣りをしたりした。

市長： 一部残して、あとは整理するという方法もある。水利権は守らないといけないので、そういう手だてを一緒に考えていきたいと思う。

市民： ごみのない美しい街づくりについて、現在人通りが少なく、人目に付きにくい場

所に不法投棄がされている。ごみの出し方として、ステーションに勤務の早い人が前日夜にゴミを出し、カラスに食い散らかされている。ステーションに参加できない人が出勤途中で生ごみ等を置いていくということもある。10月から家庭日常ゴミの有料化に伴い、エスカレートするのではないかと。10月前に提案したもので、今現在どうなっているかわからないが、市の対策をお聞きしたい。

市長： ゴミに関しては、不法投棄のひどい所には防犯カメラを設置したりしている。民家のないところによく捨てられたりするので、その対策も以前からしているが、今年の4月からは不法投棄パトロールを実施している。

10月からごみの有料化をさせて頂いて、さらにごみの分別、不法投棄のパトロール等、対策に力を入れている。不法投棄した人物の特徴、車を見つけていただいたら、すぐに役所に連絡していただければ、役所で対応はさせていただく。その対応策についても相談させていただきたく思う。今あちこちに防犯カメラがついており、防犯カメラにもそういう人物の写真も写るので、不法投棄の防止に努める。

市民： 10月の有料化になってからと、なる前とでは増えているのか。

市長： 有料化を始めて1か月くらいだが、特にごみの不法投棄が増えたということは聞いていない。

当初、出してはいけないゴミを出したりということがあったが、そういうゴミは回収しないので、最初の頃は混乱していたが、今はかなり市民の方々が協力してくださって、少なくなっている。和泉市が有料化するより先に泉大津、高石が有料化し、当初不法投棄等も心配されたが、それほど大きな問題になっていないと聞く。和泉市民が、高石や泉大津の方よりモラルが低いとは考えられない。これからも皆様の協力頂きながら、そういうことの取り締まりにも力を入れていきたいと思う。

市民： 弥生町に住んでいるが、この4月から防犯カメラの市の補助を受けて1台稼働し、さらに4台追加して来月から稼働することになっている。昨年のタウンミーティングでの他町からの質問で、メンテナンスにかかる費用は市の援助をいただきたいと言う意見があり、確か、市長は前向きに検討すると答弁があったと思うが、それ以後どのように考えておられるか。

市長： 元々、防犯については、かなり町会自治会に協力頂いていると認識している。防犯灯も電気代も半分出して頂いている。登下校時の見守りについても21校区のほとんどでボランティア見守り隊として積極的に行っている。青色パトロールカーも和泉市で100台あまり走っていて大阪府内で突出して多い。

市長会に行くと、「和泉市民は非常に協力的で、ボランティア精神が旺盛ですね」と言われる。これは皆様の意識の醸成ができてそうになっている。そんな中で行政があまりでしゃばってもいけないと考え、防犯灯についても全部を市で設置し、市の全額負担にしよう、という話もあったが、市は9割負担で1割だけ地元負担して頂くことになった。そういう経緯もある。

今は市が設置し、市が100%負担し、メンテナンスしたり、設置をしたりする防犯灯も付けている。その中で、一番最初のとっかかりがあるので、手を挙げていただいたところにある程度の負担も頂いて、設置することとなった。それが負担になるのでいらないというところもあったが、まだメンテナンス費用も出せるという方向性はついてない。

市設置型の防犯カメラをできるだけ多く付けていこうと話をしている。かなりの大きなメンテナンスの負担もして頂いていると聞いている。今後それについて他市でも助成を始めたということも聞いているので、できる部分について検討してみる。検討しないということではない。

市民： 市内一円の道路について、和泉中央線や主要路線のかなり傷んでいる所を、来年から国からの補助で修理をしていくと聞いているが、その内容を教えていただきたい。

市： 道路管理をする土木維持管理室があり、年次計画を持って、悪い道路の補修工事を順次やっていくというのは聞いている。市内道路はたくさんあるので、計画的に補修をしていく。

市民： どこから補修をされるのかをお聞きしたい。

市： また調べる。